



天生希少個体群保護林 カツラ門



飛騨白山白川郷自然休養林 しらみずの滝



乗鞍岳生物群集保護林 権現池

令和7年度 飛騨森林管理署の取組

飛騨の国有林



林野庁 中部森林管理局
飛騨森林管理署

National Forest
HIDA National Forest District Office
CHUBU Regional Office,
Forestry Agency

目次

飛騨森林管理署管内の国有林概要

基本方針と業務内容

1 公益重視の管理経営の一層の推進

多様な森林への誘導

安全・安心への貢献

治山対策の推進

優れた自然環境の維持・保存

路網整備の推進・二ホンジカ等被害対策

2 森林・林業施策全体の推進への貢献

「新しい林業」の実現に向けたコスト縮減と生産性向上

木材の安定供給の推進

民有林との連携

3 「国民の森林」としての管理経営

国有林野事業への理解と支援に向けた多様な情報受発信

森林の整備・保全等への国民参加

4 令和7年度 飛騨森林管理署業務計画

【参考資料】

組織図・管内図

飛騨森林管理署の組織と変遷

飛騨森林管理署管内の国有林概要

中部森林管理局飛騨森林管理署は、岐阜県飛騨地方宮・庄川森林計画区の国有林116,079ヘクタールを管理しています。当森林計画区の国有林は、99%が保安林に指定され、土砂流出防止等の国土保全や、水源涵養など水源保護の役割を担い、主要河川の源流地域であり、重要な公益的機能を果たしています。

当地域の飛騨山系や白山山系の山岳地帯は、美しい景観を形成し国立公園に指定されています。また、自然観察や森林浴、野外活動などに適した国有林をレクリエーションの森として設定し、スキーや登山などの森林スポーツの場として利用されています。

管内の市・村別国有林面積

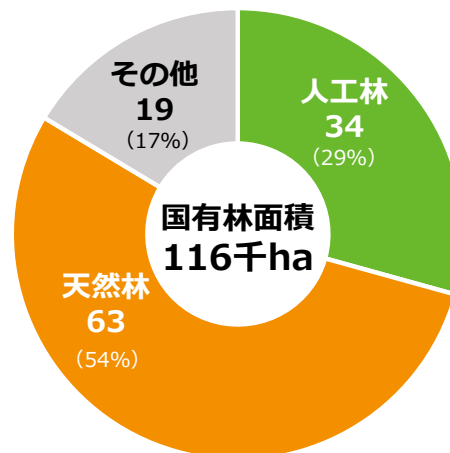
市・村	市・村面積 (万ha)	国有林面積 (万ha)	比率 (%)
高山市	21.8	8.8	40%
飛騨市	7.9	1.7	22%
白川村	3.6	1.9	19%
計	33.3	11.7	35%

※ 市・村面積は令和4年度岐阜県森林林業統計

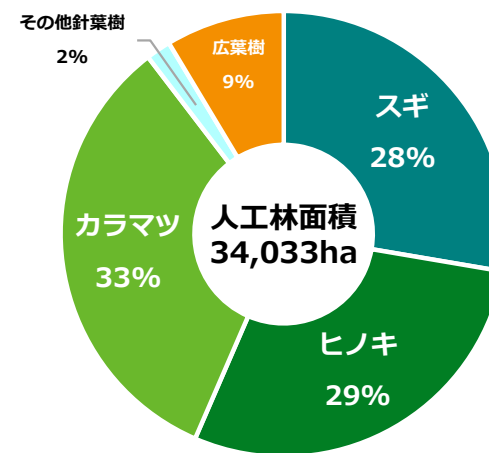
※ 国有林に関するデータは令和7年4月1日現在。
※ 小数点以下四捨五入により合計が合わない場合があります。

人天別・樹種別国有林面積

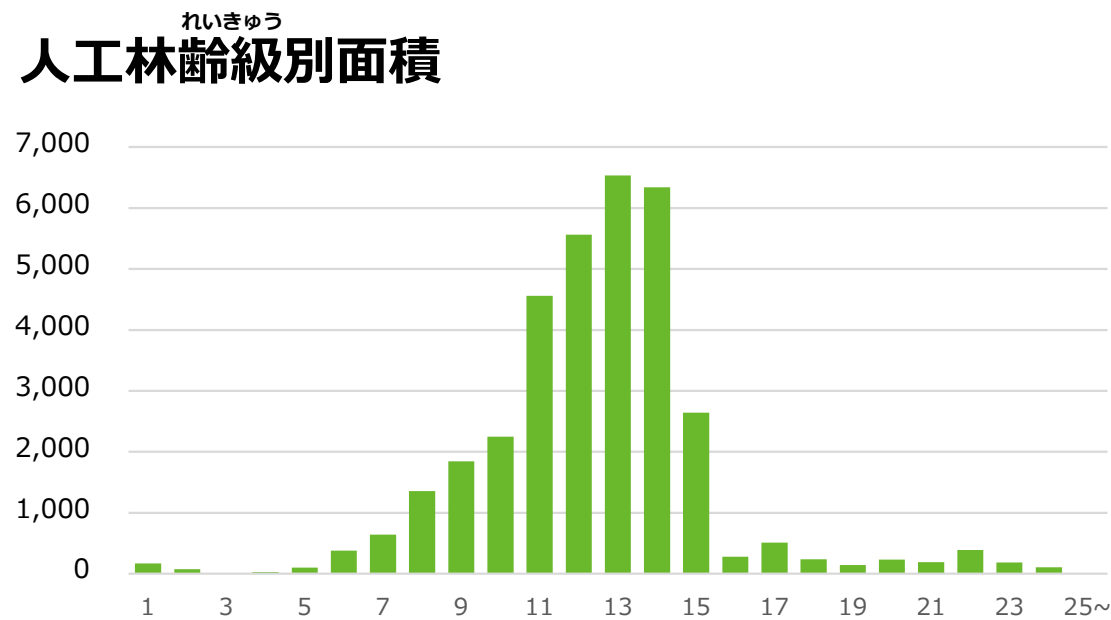
人天別国有林面積（千ha）



人工林の樹種構成（面積比）



人工林齢級別面積



1 人工林は11～14 齢級(51～70年生)の森林が主体となっています。

飛騨森林管理署管内の国有林概要

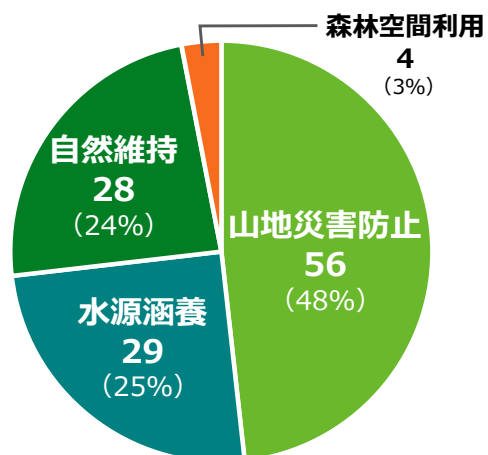
機能類型による森林区分

国有林では重視すべき機能に応じて森林を5タイプに区分し、公益重視の管理経営を行っています。

飛騨森林管理署管内は、その多くが急峻な脊梁山脈地帯であるため、山地災害防止タイプが約5割を占めています。

山地災害防止 タイプ	土砂の流出・崩壊、雪崩、落石等の山地災害による人命・施設の被害の防止など、 安全な国民生活を確保 することを重視して森林を守り育てます。
自然維持 タイプ	原始的な森林生態系からなる自然環境の維持、動植物の保護、遺伝資源の保存など 貴重な自然環境の保全 を重視して森林を守り育てます。
森林空間利用 タイプ	スポーツ又はレクリエーション、教養文化、休養等の 活動の場や優れた景観の提供 並びに都市及びその周辺の 風致の維持 を重視して森林を守り育てます。
快適環境形成 タイプ	騒音の低減、大気の浄化、木陰の提供等による気象の緩和等 人間の居住環境を良好な状態に保全 することを重視して森林を守り育てます。
水源涵養 タイプ	水源の涵養などの 公益的機能に配慮しながら、森林資源の有効活用 も考慮した森林を守り育てます。

機能類型別面積 (ha)



- ※ 令和7年4月1日現在。
- ※ 快適環境形成タイプは該当なし。
- ※ 小数点以下四捨五入により合計が合わない場合があります。

山地災害防止タイプ



イメージ

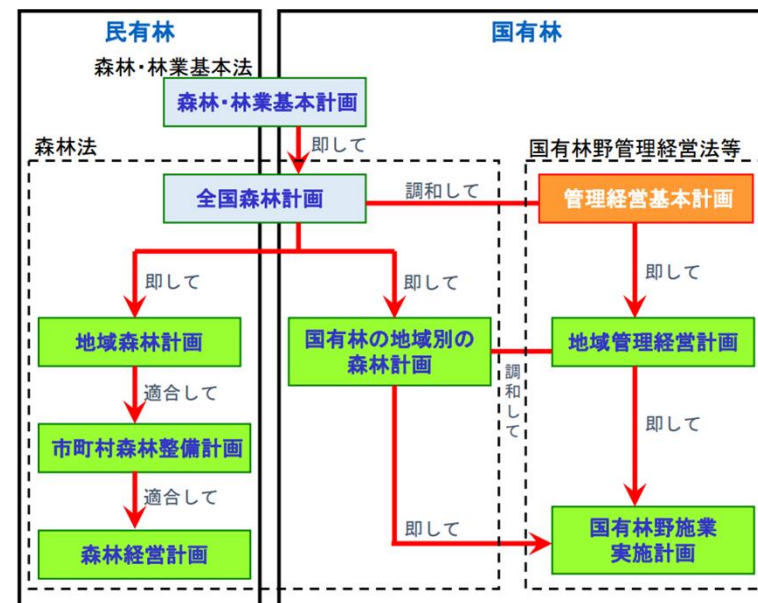
水源涵養タイプ



イメージ

国有林の計画体系

国民の大切な森林を計画的に管理経営するため国有林では、公益的機能の維持増進を第一とし、林産物の持続的・計画的な供給、地域の産業振興等を目標とし「国有林野管理基本計画」を定めています。この計画に即し、地域ごとの森林整備等に関する基本的な事項を示す「国有林の地域別の森林計画」や管理経営に関する基本的事項を示す「地域管理経営計画」などを定めています。



1 公益重視の管理経営の一層の推進 多様な森林への誘導

森林の生物多様性を保護し、森林が持つ公益的な機能をさらに発揮するために、さまざまな成長段階や樹種が混ざった針広混交林や、年齢や樹種が異なる小さな林がモザイク状に配置された面的複層林など、多様な森林を育成する施策を推進します。

また、山地災害が激甚化・多様化していることを踏まえ、急傾斜地では、森林を傷つけないよう作業道の開設を行わない架線集材を行うなど、適切な集材・搬出方法を選び、森林の保全に配慮した施業を進めています。

針広混交林への誘導イメージ



伐採



植栽



面的複層林への誘導イメージ



伐採

(伐採率等は伐採種による)



植栽／天然更新



目指す森林の状態



植栽や自然落下又は飛来する種子の発芽、生育によって、複数の樹冠層を成立させ、維持していきます。



針広混交林のイメージ

多様な森林への誘導事例（イメージ）

○ 天然力を活用した針広混交林への誘導

ヒノキ人工林の主伐箇所において広葉樹を保全し、針広混交林への誘導を行っている事例



イメージ

○ 面的複層林への誘導

カラマツとスギが混交する人工林において、伐採区域と残存区域を交互に配置し、面的な複層林への誘導を行っている事例



イメージ

○ 除伐時の広葉樹の保全

ヒノキ造林地の除伐で広葉樹を保全し、針広混交林への誘導を行っている事例



イメージ

林内又は周辺に高木性広葉樹や天然生稚幼樹がある場合には、伐採時に保全し育成することにより、段階的に針広混交の育成複層林への誘導を図ります。

1 公益重視の管理経営の一層の推進 安全・安心への貢献

山地災害の発生時には、地方自治体など関係機関と連携した被災状況確認や復旧対策を実施するなど、迅速かつ効率的な災害対応に努めています。

災害の早期発見・ヘリコプターによる被災状況確認

令和2年7月豪雨では、岐阜県東部を中心に大きな被害が発生しました。飛騨署においても被害状況を把握するため、管内市村と合同でヘリコプター調査を実施しました。

調査結果については、民・国が連携した緊急対応や復旧計画の作成等に活用しています。



ヘリ調査（民有林の被害状況）



高山市との合同ヘリ調査の様子

平時においても国有林内の災害や異変をいち早く発見するため、関係団体と「みま森たい」協定を締結しました。下流に影響のある災害が発見された場合は、速やかに関係機関へ情報共有します。



協定締結の様子

災害調査の効率化

管内で災害が発生した場合は、山地災害調査アプリを活用し、災害箇所の位置や被害状況を把握します。得られた情報は、関係機関と共有しています。



航空レーザー計測データの活用

飛騨森林管理署では、所管する国有林野等の航空レーザー計測等を概ね完了し、崩壊地や崩壊危険地の把握・分析を進めています。

データを活用して可能なこと

- 山地災害の前兆地形（植生に覆われた地表の亀裂や地すべりの痕跡等）の確認
- 災害前後の地表面の形状の比較による災害規模等の把握
- 計測データを活用した平面図等の作成



1 公益重視の管理経営の一層の推進

治山対策の推進

近年、大雨や短時間強雨の発生頻度が増加傾向にあり、毎年多くの山地災害が発生しています。また、地震や火山活動による山地災害の発生リスクも高まっています。このため、**治山事業**により荒廃した山地の早期復旧を図るとともに、山地災害の未然防止に向けた治山施設の設置や保安林の整備を推進しています。事業の実施にあたっては、品質を確保しつつ現場条件を適切に反映した設計積算や、施工の効率化・省力化に資する工種・工法の採用に取り組んでいます。

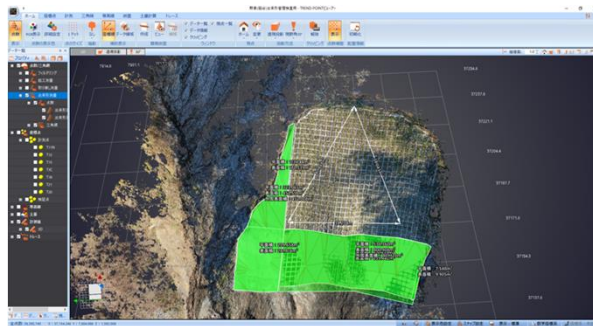
飛騨森林管理署管内の治山事業

飛騨森林管理署管内の国有林は、3,000m級の山岳地帯を有し、多数の断層が分布するため地質が脆弱であり、活火山（焼岳、乗鞍岳、御嶽山、白山等）も存在する山地災害の発生リスクが高い地域です。

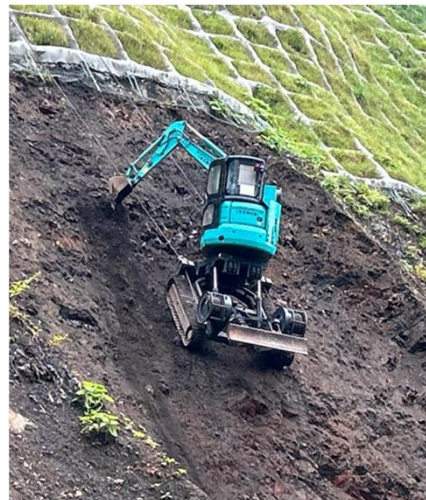
このため、国有林野内において、豪雨、地震及び火山噴火等による山地災害からの復旧や土砂等の流出による下流域への被害を防止・軽減するため、治山施設の設置や保安林の整備を計画的に実施しています。

最新技術の積極的な採用

森林土木分野における工事等の効率化を図るため、レーザー計測やドローン等を活用した施工管理に取り組んでいます。また、高所掘削機を導入して迅速かつ安全な施工に取り組んでいます。



ドローンを使用した3次元測量
（野麦（脇谷）復旧治山工事）



高所掘削機による斜面整形
（野麦（脇谷）復旧治山工事）

森林土木事業における木材利用の推進

木材の有効利用することで、森林の整備が進み気候変動対策等にも大きく貢献することから、森林土木工事においても積極的な利用しています。



木製残存型枠を使用した谷止工
（大ハゲ復旧治山工事）



木製校倉式土留工を実施した山腹工
（麦島復旧治山工事）

地域住民等への現地説明

地域住民の方々を、治山工事現場に案内し治山事業について理解を深めていただけるよう取り組んでいます。



地域住民へ福地国有林治山事業
の現地説明

1 公益重視の管理経営の一層の推進 優れた自然環境の維持・保存

国有林野には、世界自然遺産を始めとする原生的な森林生態系を有する森林や、希少な野生生物の生育・生息の場となっている森林が多く残されています。

国有林野事業では、こうした貴重な森林を「**保護林**」として設定し、森林の厳格な保護・管理を行っています。

【飛騨署管内：13箇所 計17.126 ha（令和7年4月1日現在）】

天生希少個体群保護林



北アルプス （金木戸川・高瀬川源流部） 森林生態系保護地域



北アルプスを代表する原生的で多様な天然林

白山森林生態系保護地域



乗鞍岳生物群集保護林



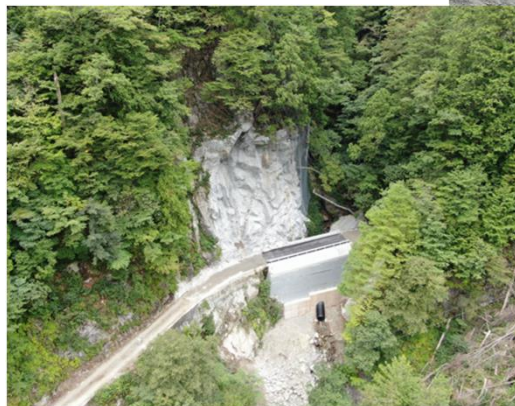
凡例	名称
●	森林生態系保護地域
●	生物群集保護林
●	希少個体群保護林

路網整備の推進・二ホンジカ等被害対策

路網整備の推進

林道等の路網は、林産物の搬出、森林の育成のみでなく、森林の適切な保全管理等を効率的に行うために重要です。森林の有する公益的機能が高度に発揮されるよう、林道及び森林作業道について、それぞれの道の役割や自然条件、作業システム等に応じて適切に組み合わせた整備を推進しています。

また、災害の激甚化を踏まえ、排水機能の強化などにより路網の強靱化・長寿命化に取り組んでいます。



双六細越(金木戸)林道災害復旧工事



小ヌクイ大檜林業専用道新設工事

二ホンジカ等被害対策

二ホンジカ等による森林被害は、適切な森林整備の実施に支障を及ぼすだけではなく、樹木の剥皮による天然林の劣化や下層植生の食害等により、地域全体の森林が持つ公益的機能の発揮に大きな影響を与えています。

このため、地域と連携して、捕獲と防護との両面で二ホンジカ等の被害対策に取り組んでいます。

攻めの対策（捕獲）

効率的に捕獲するためのセンサーカメラによる生息調査、猟友会へのくくりワナの貸出により、二ホンジカ等の被害対策に取り組んでいます。



センサーカメラの設置
(マツ谷国有林ほか)

守りの対策（防護）

二ホンジカ等による森林被害に対処するため、造林地の植栽木に二ホンジカ等が嫌う忌避剤の塗布や、高山植物等を保護する防護柵を設置しています。



防護柵の設置
(山中山国有林)

「新しい林業」の実現に向けたコスト縮減と生産性向上

造林・保育のコスト縮減

伐採から造林までを一体的に行う「**伐採・造林一貫作業システム**」の実施等により、地拵えコストや下刈り回数の縮減を図るなど造林・保育の低コスト化を進めています。



コスト縮減のポイント

伐採・造林一貫作業システムの導入

伐採・搬出時の機械を活用し、地拵え・苗木等運搬のコストを削減
初回の下刈りを省略可能

コンテナ苗の活用

植栽適期が長く、伐採から植栽までを**単年度で完了可能**

末木枝条等を木質バイオマスとして販売

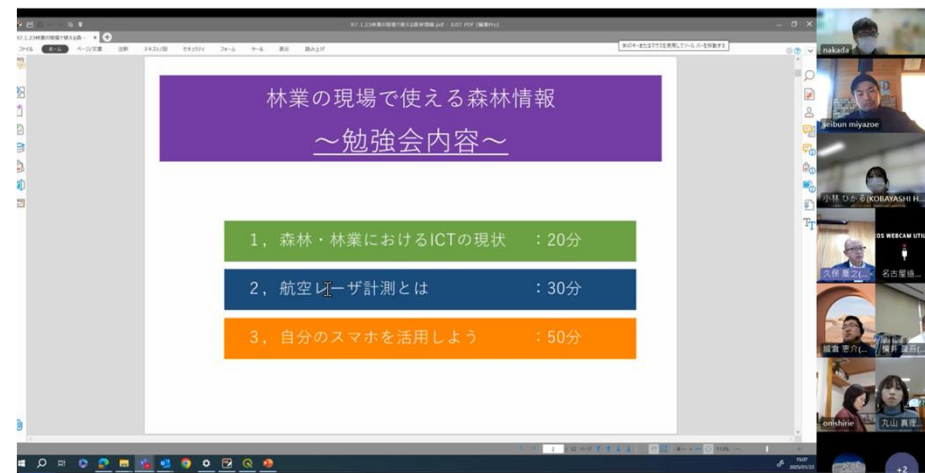
林内から搬出することで、地拵えが省略可能

エリートツリー等の活用

初期成長が早く、下刈り期間が短縮可能

生産性向上

木材需要の拡大に伴う安定的・効率的な丸太の生産体制を確立するため、素材生産事業者、民有林行政担当者、有識者の方々と連携して生産性向上に取り組んでいます。



定期的にオンライン勉強会を実施

森林・林業の現場においても、地理空間情報やICT等の先端技術を活用し事業の効率化・省力化の取り組みが進められています。生産性向上の取り組みの中、当署では、ICT等の先端技術を活用するため、基本的な知識から現場で活用できる技術について勉強会を実施しています。

木材の安定供給の推進

水源の涵養^{かん}や自然環境の保全などに十分配慮しながら森林整備を行い、生産される木材の持続的かつ計画的な供給に努めています。

安定供給システムによる木材の販売



工場での加工

製材品

合板

国有林材の安定供給システム販売は、需要者と事前に安定供給の協定を締結し、丸太等を直接安定的に供給する販売方法です。地域の林業・木材産業の活性化や新たな需要開拓に貢献できるよう推進しています。

広葉樹活用へ向けた取り組み

飛騨地域は古くから家具産地として知られており、現在も広葉樹活用を推進しています。令和6年度には、飛騨市広葉樹活用コンソーシアムと現地検討会を行い、国有林からの広葉樹の活用について意見交換を行いました。

現状

- ▶ 委託販売

今後検討

- ▶ 委託販売
- ▶ 広葉樹用材の**システム販売**
- ▶ 広葉樹率が高い箇所の**立木販売**
- ▶ **小ロットで販売**できる方法の確立



飛騨市広葉樹コンソーシアムとの
現地検討会（向洞国有林）

民有林との連携

国有林で得られた成果やフィールドを提供し、技術の普及・人材育成に向けた取組を行っています。

また、民有林と森林整備推進協定を締結し、国有林と民有地を接続する効率的な路網の整備や木材の協調出荷など、施業の集約に向け取り組んでいます。

民有林への技術の普及

多様な森林づくりの取組や、木材生産と造林の低コスト化等の取組の成果について、現地検討会や森林・林業交流発表会での発表等により民有林の関係者への普及を図っています。

また、「森林経営管理制度」の推進に向け、市町村で活躍できる人材を育成するため、経営管理に資する技術の普及や自治体への助言等に取り組んでいます。

職員向け研修への
市町村職員の参加

国有林の現場業務への
市町村職員の同行

現地検討会等の開催

取組成果の公表



ドローン研修に参加する
市町村職員

森林整備推進協定

飛騨森林管理署では、7者間で2,729haの森林を「一色・山中山共同施業団地地域」として協定締結しています。

当協定では、民有林と国有林が連携し、路網の連結や効率的な森林整備等の検討と、健全で豊かな森林づくりの推進、林業の生産性向上や林業事業体の育成・強化、木材の安定供給の推進などを目的としています。



民有林材と国有林材の協調出荷
(イメージ)

協定締結者

- 飛騨森林管理署
- 一惣造林組合
- 岐阜県飛騨農林事務所
- 高山市
- (独) 森林総合研究所岐阜水源林整備事務所
- (公社) 岐阜県森林公社
- 飛騨高山森林組合

事業への理解と、支援に向けた多様な情報受発信

情報の受発信

グリーンサポートスタッフ（GSS）による情報発信

飛騨森林管理署では、登山者や観光客が増える時期に「グリーンサポートスタッフ（GSS）」を雇用し、巡視やマナーの啓発活動を行い、森林生態系の保護に取り組むとともに、季節に合わせた情報発信を行っています。



GSS便り
(中部森林管理局HP)

現地見学会の開催・関係機関への情報発信

地域住民の方々に国有林をより身近に感じてもらうため、国有林野事業の現地説明や見学会を開催しています。また、林政懇談会等を通じ関係機関へ、事業の説明や情報発信を行っています。



飛騨地域林政懇談会



地域住民への治山事業地見学会実施

森づくり活動支援・森林環境教育の推進

森林づくり活動に取り組むNPOなど民間団体が行う自立的な活動への支援や、地域の関係者との連携による森林環境教育などの普及啓発活動を行っています。



栃尾小学校森林教室の様子

森林の整備・保全等への国民参加と森林の活用

国民参加の森林づくり

NPOなど民間団体、学校や企業等との協定締結により、森林整備・保全活動や環境教育等の場として国有林のフィールド提供や活動の支援を行い、国民参加の森林づくりを推進しています。

つながる遊学の森



高山市奥飛騨温泉郷の穂高国有林に、高山市立柘尾小学校と「つながる遊学の森」を設定しています。

北アルプスの玄関口にあたるこの協定地を活用し、児童達が森林の大切さや森林の持つ多面的な機能・役割について理解を深めることを目的に、毎年5年生を対象に自然観察会、植栽体験、治山施設の必要性の学習等を実施しています。

山のフィールドミュージアム

NPO法人山の自然文化研究センターと、穂高国有林を中心に3箇所の国有林で設定しています。

歩道や観察路、看板等の整備や、奥飛騨地域の多様かつ希少な動植物、地理、河川等について学習する自然観察会を実施しています。



レクリエーションの森林

自然観察や森林浴、野外活動などに適した国有林を、「レクリエーションの森」に設定しています。

地元市町村をはじめ地域関係者の方々と連携し、登山や観光スポット、スポーツの場として活用されています。



飛騨白山白川郷自然休養林



乗鞍自然観察教育林

区分	名称	面積 (ha)
自然休養林	御岳自然休養林	1,662
	飛騨白山白川郷自然休養林	2,445
自然観察教育林	宮自然観察教育林	28
	乗鞍自然観察教育林	37
	深洞自然観察教育林	217
	天生自然観察教育林	518
野外スポーツ地域	数河流葉野外スポーツ地域	124
風致探勝林	平湯風致探勝林	41
総計		5,072

※ R7年4月1日現在

※ 小数点以下四捨五入により合計が合わない場合があります。

4 令和7年度 飛騨森林管理署業務計画

飛騨森林管理署の業務について

飛騨森林管理署の業務は、「国有林の管理経営基本計画」に基づき、公益重視の管理経営の一層の推進のほか、森林・林業施策全体の推進への貢献、山村地域の振興と森林の総合利用などを柱として「国民の森林(もり)」となるよう管理経営に取り組みます。

森林の公益的機能を発揮させるため計画的な間伐の推進、多様な森林への誘導、効率的で安全な素材生産作業システムの構築、造林コスト低減に向けた試み、防護柵の設置等による二ホンジカ等被害対策、事業実施・森林管理のための林道整備、集中豪雨等に対する山地防災力を高める荒廃山地の復旧対策等を実施します。

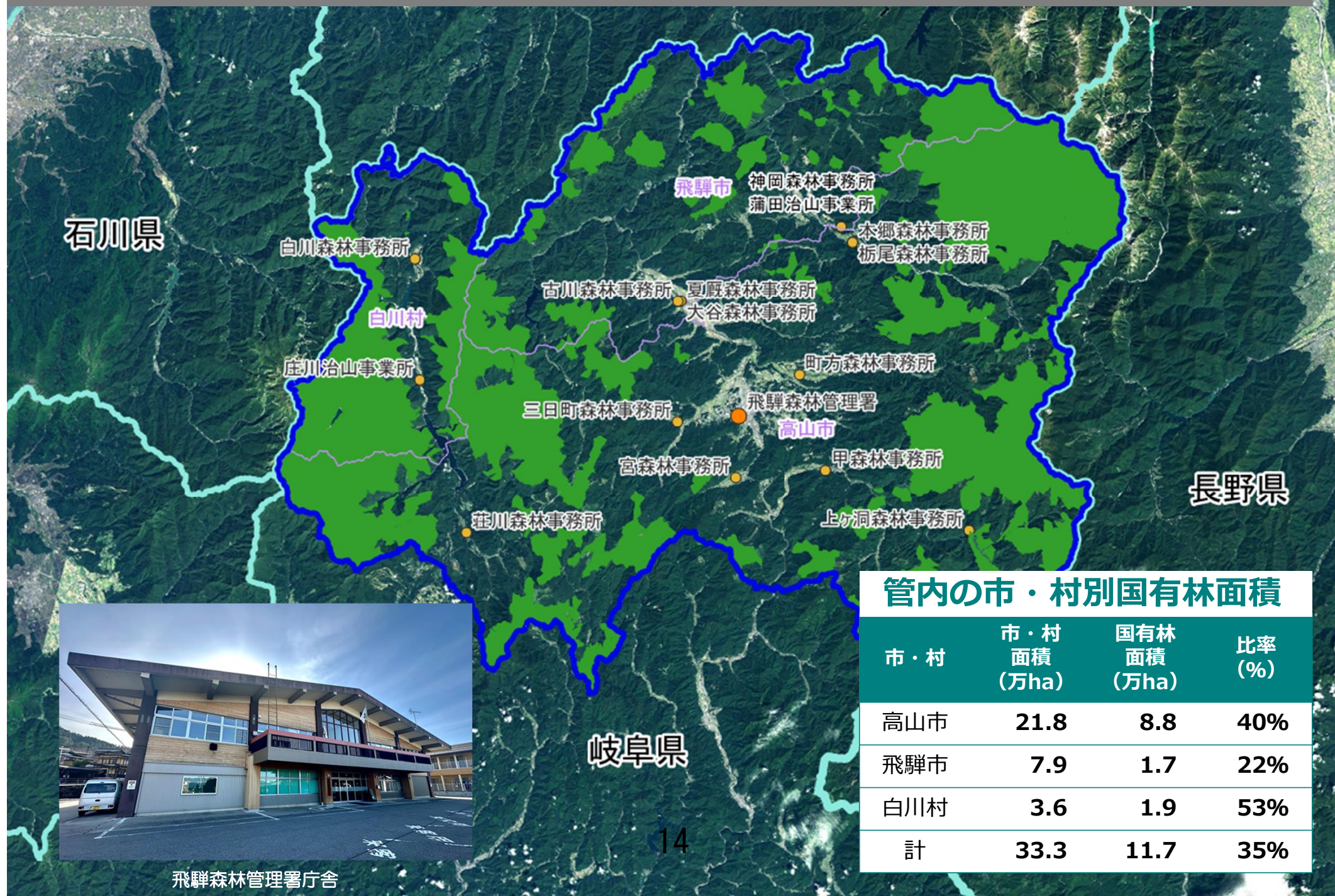
また、民有林と連携した森林整備協定の推進のほか、地域の林業関係者と作業の効率化を目指す現地検討会等の開催や、県・市村行政と連携した民有林支援に取り組みます。

さらに、レクリエーションの森や多様な活動の森など、国有林を通じた地域振興についても引き続き取組を進めます。

令和7年度事業量

区分		事業量	単位
伐採量 予定量	主伐	63,390	m3
	間伐	80,610	m3
	計	144,000	m3
製品販売 予定量	立木販売	54,432	m3
	製品販売	29,500	m3
	分収育林	35,895	m3
	計	119,827	m3
更新・保育	地拵	9.06	ha
	植付	60.83	ha
	下刈	88.25	ha
	保育間伐（活用型）	275.17	ha
	病虫獣害防除（忌避剤）	266.30	ha
林道工事	改良	7	箇所
	建設機械借上	5	地区数
治山工事	溪間工（ダム工）	3	基
	山腹工	4.00	箇所
	資材運搬路	140	m

組織図・管内図



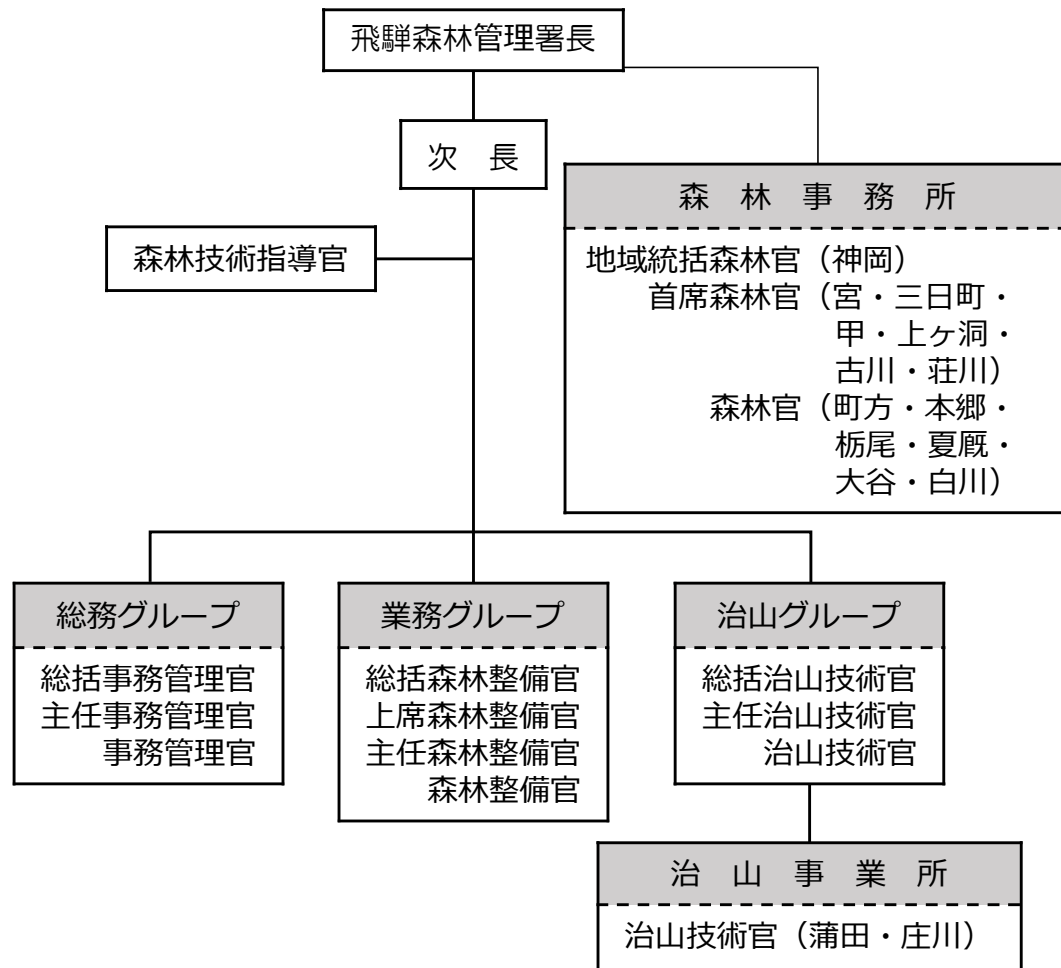
飛騨森林管理署庁舎

管内の市・村別国有林面積

市・村	市・村 面積 (万ha)	国有林 面積 (万ha)	比率 (%)
高山市	21.8	8.8	40%
飛騨市	7.9	1.7	22%
白川村	3.6	1.9	53%
計	33.3	11.7	35%

飛騨森林管理署の組織と変遷

組織



【職員数】 令和7年4月1日現在

本署(非常勤含)	森林事務所等	計
28	15	43

変遷

明治	19 (1886) 年	林区署制定により岐阜大林区署高山派出所として開庁
大正	13 (1924) 年	官制が改められ大阪営林局・高山営林署として改称
昭和	7 (1932) 年	古川事業区を分離して古川営林署を設置
"	22 (1947) 年	林政統一により名古屋営林局・高山第一営林署を設置 同時に高山第二（久々野）・船津（神岡）・古川・荘川の各営林署を設置
"	23 (1948) 年	高山第一、高山第二をそれぞれ高山営林署、久々野営林署に改称
平成	4 (1992) 年	高山営林署と久々野営林署を統合。 久々野・高山営林署と改称
"	10 (1998) 年	古川営林署を神岡営林署に統合。 古川森林管理センターに改称
"	11 (1999) 年	組織再編により神岡営林署を飛騨森林管理署に統合 神岡事務所に改称。同時に荘川営林署は岐阜森林管理署へ統合。 荘川事務所に改称
"	13 (2001) 年	神岡事務所を廃止。飛騨森林管理署に統合
"	16 (2005) 年	岐阜森林管理署荘川事務所管轄の宮・庄川森林計画区を編入
"	25 (2013) 年	国有林野事業が特別会計から一般会計へ移行



林野庁 中部森林管理局 飛騨森林管理署

お問い合わせ先

〒380-8575

岐阜県高山市西之一色町三丁目747-3

TEL 050-3160-6085



飛騨森林管理署HP

神岡森林事務所	〒506-1133	岐阜県飛騨市神岡町大字数河827-2	0578-82-0046
荘川森林事務所	〒501-5413	岐阜県高山市荘川町新湊字ぼた下92	05769-2-2151
上ヶ洞森林事務所	〒509-3411	岐阜県高山市高根町上ヶ洞字井ノ口383	0577-59-2053
三日町森林事務所	〒506-0102	岐阜県高山市清見町三日町637-2	0577-68-2016
甲森林事務所	〒509-3326	岐阜県高山市朝日町甲1634	0577-55-3101
宮森林事務所	〒509-3505	岐阜県高山市一之宮町3215-15	0577-53-2040
古川森林事務所	〒509-4256	岐阜県飛騨市古川町高野字朝開232-4	0577-73-2785
夏廐森林事務所	〒509-4256	岐阜県飛騨市古川町高野字朝開162-3	0577-73-2786
大谷森林事務所	〒509-4256	岐阜県飛騨市古川町高野字朝開162-3	0577-73-2808
本郷森林事務所	〒506-1317	岐阜県高山市上宝町本郷530-3	0578-86-3665
枳尾森林事務所	〒506-1133	岐阜県飛騨市神岡町大字数河827-2	0578-82-0046
町方森林事務所	〒506-2123	岐阜県高山市丹生川町町方86-3	0577-78-1032
白川森林事務所	〒501-5629	岐阜県大野郡白川村大字鳩谷字北長433-1	05769-6-1002
蒲田治山事業所	〒506-1133	岐阜県飛騨市神岡町大字数河827-2	0578-82-2463
庄川治山事業所	〒501-5506	岐阜県大野郡白川村大字御母衣字コウ島316-2	05769-5-2073